



六ヶ所村の魅力を発掘・発見・発信！

二又魅力発見ツアー関連「六ヶ所村の戦争編」

2024年4月27日実施のふるさと歴史散歩「二又魅力発見ツアー：二又空襲と防空壕」に続き、六ヶ所村の戦争の歴史について、ご紹介いたします。

先の大戦では、六ヶ所村も空襲を受け、計6名の方が亡くなっています。学校も被害を受けていますが、児童の死者はありませんでした。二又地区では、13戸が消失。尾駮地区でも20戸焼失し、11戸が倒壊。鷹架地区では、7戸が焼失しています。六ヶ所村内でも、かなりの被害が出ていました。

現在、戦争遺構としては、尾駮防空監視哨跡(泊は確認中)や二又地区の防空壕跡を6基、確認しています。

1941(昭和16)年 対米英宣戦布告。

1943(昭和18)年3月18日 泊沖で汽船西南丸が米潜水艦の魚雷を受けて座礁する。

同年4月28日 泊国民学校3年が砂浜で運動中、魚雷爆発。無事避難する。

同年6月11日 米軍潜水艦の電撃により泊諏訪神社近くの浜で死者1人(女)が出る。

6月以降、泊に防空監視哨を設置される。

1945(昭和20)年7月14日 六ヶ所村では、早朝尾駮・鷹架集落が米軍艦載機の銃撃を受け、尾駮国民学校校舎も被害を受ける。

同年7月15日 出戸・倉内集落が米軍艦載機の銃撃を受け、各死者1人ずつ出る。学校も防空壕づくりを始める。

同年8月9日 二又集落の空襲：大湊空襲が終わったかと思う間もなく、午後1時50分から2時14分まで、二又神社の上空から米軍艦載機2機ずつ3編隊都合6機が数回にわたり、二又上空を旋回しながら焼夷弾投下や銃爆撃を加える。死者2人、住家13戸が焼失する。

・尾駮集落も銃撃を受け、国民学校に十数発が命中する。

同年8月10日 尾駮・平沼・鷹架が米軍艦載機の銃爆撃を受ける(青森・八戸・大湊)。攻撃隊1,364機、制空隊404機。

・午後3時12分、尾駮国民学校には百余発命中、幸い生徒・職員に異状なし。尾駮集落の20戸焼失、11戸が倒壊。

・鷹架国民学校1教室が倒壊。民家7戸が焼失する。

・平沼では2人(女)銃弾により死傷する。

同年8月14日 日本は、ポツダム宣言を受諾する。

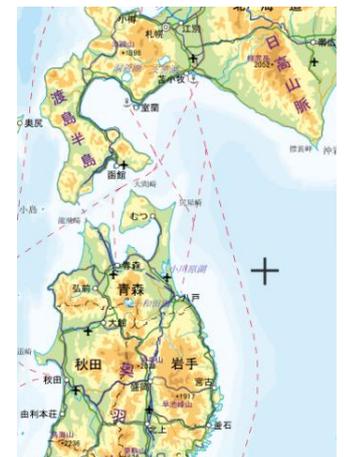


尾駮国民学校 1942(S17)年 出典: 六ヶ所教育史(改訂版 1998)



米海軍ガトー級潜水艦

出典: フリー百科事典『ウィキペディア』



米海軍空母機動部隊の到達位置十

出典: 国土地理院地図より一部加筆



米海軍空母機動部隊

出典: フリー百科事典『ウィキペディア』



グラマンF6F-5 ヘルキャット

出典: フリー百科事典『ウィキペディア』



炬ぶき屋根の尾駮集落

昭和30年代 村史より